

嬉野市下水道

事業概要

- 事業名 : 嬉野市公共下水道
- 処理区 : 嬉野処理区
- 事業着手年度 : 平成12年度
- 完了見込み年度 : 平成30年度

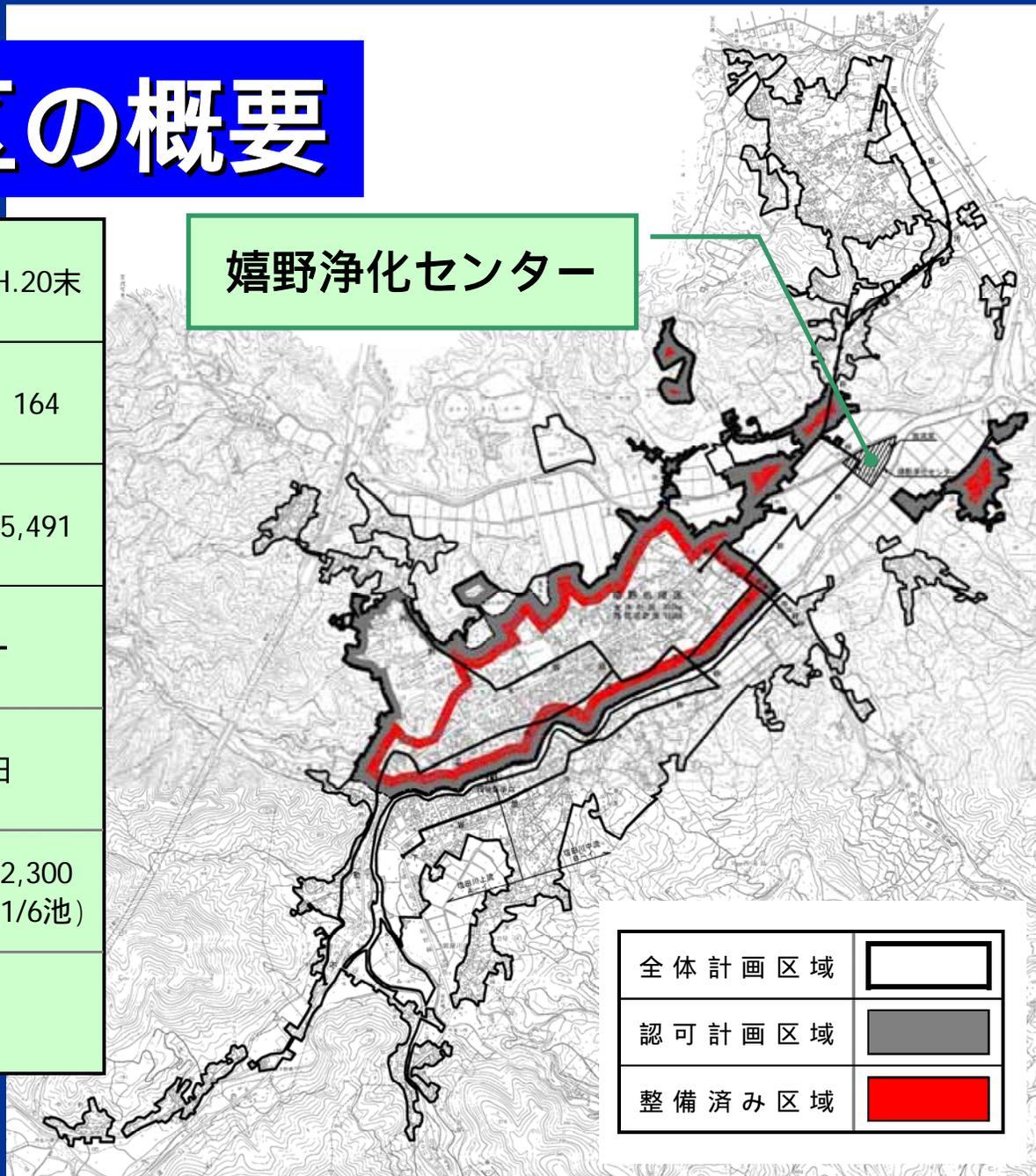
単位:百万円

種類	全体事業費	H.20実施済み	残事業	備考
管渠	8,951.0	3,471.0	5,480.0	
ポンプ場	-	-	-	
処理場	4,290.0	995.0	3,295.0	
用地費	583.0	583.0	0.0	
全体計	13,824.0	5,049.0	8,775.0	

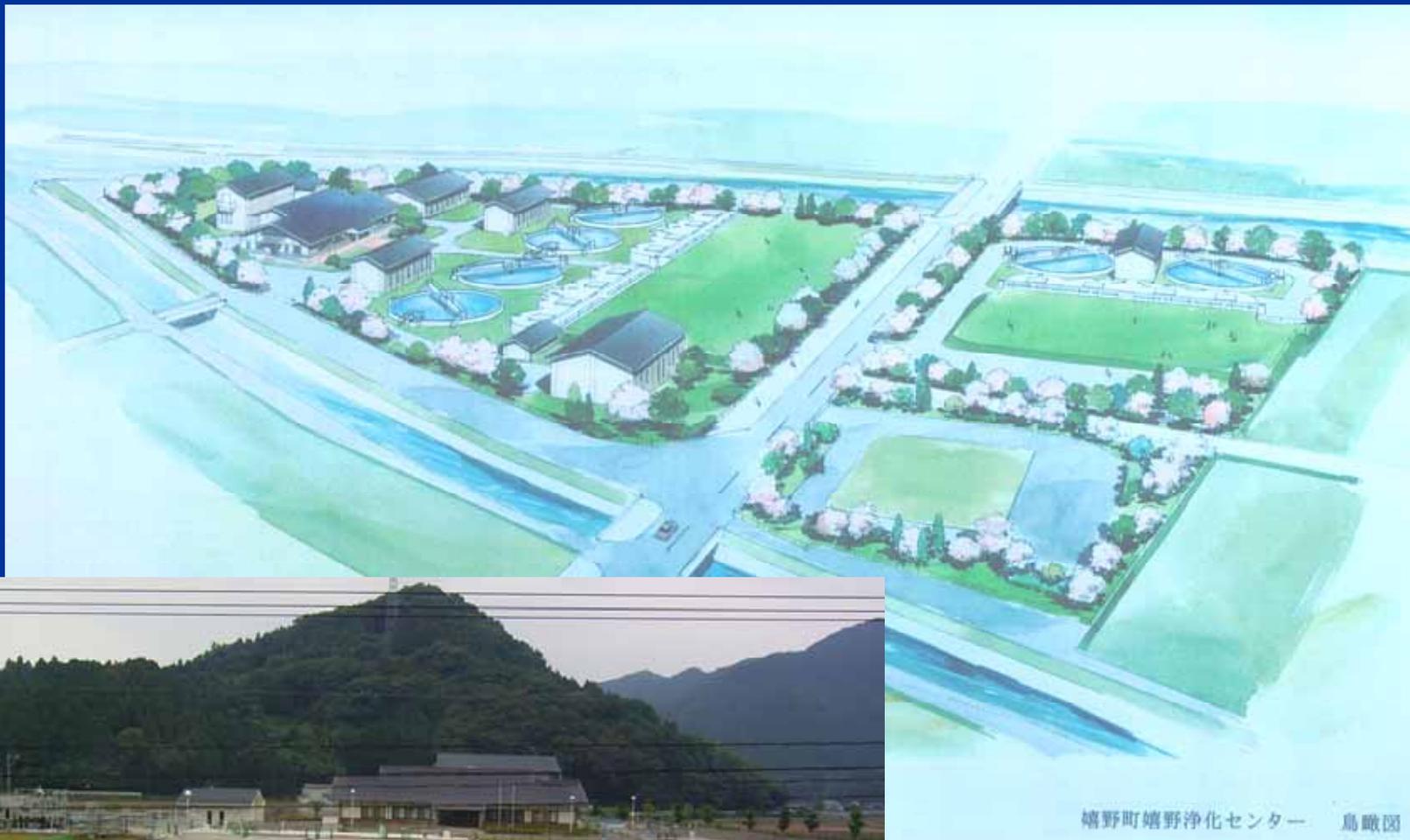
嬉野処理区の概要

項目		全体計画	認可計画	H.20末
計画区域 (ha)		453	193	164
計画処理人口 (人)		14,700	6,700	5,491
処理施設	名称	嬉野浄化センター		
	供用開始年月日	平成18年3月10日		
	処理能力 (m ³ /日)	13,800 (6/6池)	6,900 (3/6池)	2,300 (1/6池)
	放流先環境基準	塩田川 B類型		

嬉野浄化センター



嬉野浄化センター



嬉野町嬉野浄化センター 鳥瞰図



年度別便益費の考え方

効果項目	評価対象	評価手法	
1. 生活環境の改善効果	下水道整備によるドブの解消	代替費用法	中小水路の覆蓋費用 水路の清掃費用
2. 便所の水洗化効果	住環境の改善	代替費用法	浄化槽の設置費用 浄化槽の維持管理費用 浄化槽の汚泥処理処分費用 浄化槽の敷設占有費用

費用効果分析結果

現在価値比較法による B / C

■ B / C = 29,587 ÷ 21,025 (百万円)
= 1.41

■ 効果(B)	:29,587	(百万円)
■ 生活環境の改善	:16,780	(百万円)
■ 便所の水洗化	:12,807	(百万円)
■ 費用(C)	:21,025	(百万円)
■ 事業費	:15,557	(百万円)
■ 維持管理費	: 5,468	(百万円)

今後の方針

嬉野市嬉野処理区では、公共下水道の費用対効果（ B / C ）が1.41となり、事業実施の効果が確認された。

このため、本市では当該事業を今後も継続して実施することとしたい。

今後の方針：事業継続